

連携施設の研修可能性

手稲溪仁会病院小児科専門研修プログラムは、基幹施設（手稲溪仁会病院）および複数の連携施設からなっています。連携施設の構成は、北海道立子ども総合医療・療育センター、市立札幌病院、札幌北楡病院、函館中央病院、国保松戸市民病院、神戸市立医療センター中央市民病院、北九州市立八幡病院、関連施設は生涯クリニックさっぽろです。

専門研修1年目：手稲溪仁会病院で小児救急医療を中心に、救急外来、病棟で多彩な疾患を担当医として経験

専門研修2年目：連携施設で重篤な疾患や高度な未熟児診療、新生児診療、地域での周産期医療や救急医療、社会医療を6ヶ月から1年間院外研修を予定

専門研修3年目：手稲溪仁会病院で小児の3次救急医療や小児集中医療、後輩の指導を通じてのチームワークや保健所の乳児健診、学校健診を通して、小児保健や社会医療制度などの研修

小児悪性疾患などの特殊な疾患の診断、管理、治療を1ヶ月研修（札幌北楡病院）

希望により、連携した遠隔地での院外研修も可能

施設名	研修期間	研修内容
手稲溪仁会病院	23ヶ月	小児の成長と発達を見守り、援助するという心構えを確立する。小児科学のおよそほとんどの領域を経験し、小児科医として必須の知識と診療技能を習得する。
道立子ども総合医療・療育センター	6ヶ月	希少な神経・筋疾患、先天奇形、先天性心疾患、小児外科疾患など、小児の特殊疾患を研修する。
市立札幌病院	6ヶ月	北海道の未熟児・新生児医療の中心的病院。新生児医療を集中的に研修する。
札幌北楡病院	1ヶ月	小児の血液疾患、悪性腫瘍などを研修する。
函館中央病院	12ヶ月	地方都市の病院小児科として、あらゆる急性疾患への対応や、慢性疾患の診断・治療に従事する。
国保松戸市民病院	6ヶ月	豊富な指導医のもと、多彩な疾患の研修お受けする。
神戸市立医療センター中央市民病院	6ヶ月	小児科全般わたる医療を豊富な指導陣のもとで研修できる。
北九州市立八幡病院	6ヶ月	特に小児救急医療をとくちょうとしている。多彩で多くの疾患を集中的に研修できる。